

2025 vol.81 12月定例会



つわの議会だより



11月に開催された議員と町民の座談会の様子 (詳細はP16)



令和7年12月定例会

- 議長の新年のご挨拶・全員協議会 2
- 一般会計補正予算 3
- 一般質問 4~13
- 所管事務報告 14
- 条例の制定・賛否表 15
- 津和野町議会座談会 16



新年のご挨拶

津和野町議会
議長 草田吉丸

明けましておめでとうございます。

津和野町議会を代表し、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様には、新春をお健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は津和野町議会に対し、温かいご支援とご理解を賜り、厚くお礼を申し上げます。

10月に行われた町長選挙においては選挙戦が展開され、結果として5期目の下森町政がスタートいたしました。

10月に行われた町長選挙においては選挙戦が展開され、結果として5期目の下森町政がスタートいたしました。

10月に行われた町長選挙においては選挙戦が展開され、結果として5期目の下森町政がスタートいたしました。

10月に行われた町長選挙においては選挙戦が展開され、結果として5期目の下森町政がスタートいたしました。

10月に行われた町長選挙においては選挙戦が展開され、結果として5期目の下森町政がスタートいたしました。

◎道の駅津和野温泉なごみの里
ZEB化改修工事に伴う休業損失
補償並びに追加工事

追加工事

1560万4000円

補償額

◎東京事務所状況報告
主な活動内容
○第2次津和野町総合振興計画後期基本計画等の評価・検証に係る審議の報告
○交通空白時間帯解消に係る日原→津和野間の夜間実証運行(10人乗りタクシー)
日程 令和7年11月1日～令和8年1月31日
運行ダイヤ 津和野温泉発 20時、21時
道の駅シルクウェイにちはら発 20時50分、21時50分
運行業者 運行業者 (株)フォーブル
○企業版ふるさと納税の活用による宙辺SORABE施設及び周辺環境整備事業
○企業版ふるさと納税の活用による宙辺SORABE施設及び周辺環境整備事業

(3061万3000円)



もりもと のぶひさ
森本修久

(文教民生常任委員会所属)



てい たいじん
丁 泰仁

(総務経済常任委員会所属)

◎議員紹介
先に行われた津和野町議会議員補欠選挙(令和7年10月19日)において当選された方々をご紹介します。

来所者数
611人

物販販売実績
イベント12回
174万9230円

◎東京事務所状況報告
主な活動内容
○特産品販売・PR・移住定住
関連・観光振興・関係人口構
築・津和野高校支援・広報活
動等

令和八年 正月

令和7年度 津和野町一般会計補正予算（第4号）

12月定例会（12月12日～12月19日）にて可決

2億9860万6千円を追加し歳入歳出予算の総額を111億4417万9千円とする

「主な歳出」

抜粋（千円以下切り捨て）

総務費

- 津和野庁舎耐震改修に伴う電話工事及びネットワーク工事請負費 2442万円
 - 津和野庁舎耐震改修に伴う庁用器具費 1815万円
 - 職員の勤怠管理システム導入支援業務委託料 440万円
 - 道の駅なごみの里施設修繕工事請負費 3061万円
 - 道の駅なごみの里ZEB(ゼブ)化改修工事に伴う休業補償金 1560万円
- ※ZEB(ゼブ)化～公共施設など非住宅建物の電気や熱などのエネルギー少量を多く減らすために、
高い断熱性能の壁や窓、電力消費の少ないLED照明などの省エネ機器駆使すること
- 生活支援給付金支援事業の通信運搬費 250万円
 - 物価高騰対策重点支援給付金支給事務委託料 222万円
 - 物価高騰対策重点支援給付金支援事業補助金 6251万円

※全町民につわみん生活応援券を1名につき1万円分を支給（令和8年3月予定）

民生費

- 吉賀町銀杏寮賄材料費高騰に伴う養護老人ホーム負担金 118万円
- 国民年金システム改修委託料 159万円

児童福祉総務費

- 放課後児童クラブ運営委託料（人件費・物価高騰によるおやつ代に係る委託料） 265万円

商工費

- 創業支援や店舗改修等支援に伴う個別商業包括的支援補助金 107万円
- 城山ライトアップ照明器具、ポンプ所、トイレ制御盤等修繕料 242万円

土木費

- 津和野、日原地区の町道等の修理等追加で道路維持業務委託料 340万円
- 町道金有線、奥山線舗装工事等に伴い工事請負費 2513万円
- 平野大橋、桧橋設計業務伴い長設計業務委託料 477万円
- 相撲ヶ原川河床掘削工事等に伴い工事請負費 1029万円

消防費

- 非常備消防費では報奨費として5名分の退職報償金 206万円
- 個別避難計画作成業務委託料（避難行動要支援者が安全に避難のため） 182万円

教育費

- 津和野中学校体育館空調設備設置工事実施設計に伴う設計委託料 289万円
- 津和野町立小中学校LED化監理業務委託料 254万円
- 町立小中学校LED化工事請負費 8277万円
- 津和野中学校温風暖房機更新に伴う備品購入費 179万円
- 名賀地域センタートイレ改修工事と日原地域活動拠点施設光引込
電話設備工事請負費 603万円
- 池河体育館空調設備設計業務委託料 274万円

Q 列福運動の進捗状況は



てい たいじん
丁 泰仁 議員

A 申請書の日本語記述は概ね完了

町長 施設備の草刈り等は完了し、景観はよくなっている。

トイレの件

Q 冬季の経済施策

問 観光シーズンも終わり、町通りに観光客の姿が見えなくなる冬季になり、商工観光関連業者は、町の何らかの経済施策を期待

A 「つわみん生活応援



券」の配布で生活防衛しているが。
町長 例年、個人消費喚起策として「忘、新年会等応援キヤンペーン」を実施していたが、今年は物価高騰対策重点

またNHKの歌番組（B）日本歌のど自慢など）を招致して、当町の宣伝を全国に広めることで、

A black and white photograph of the Tsuruoka City Library. The building has a modern architectural style with a prominent horizontal striped pattern on its facade. A large, light-colored overhanging roof provides shade over the entrance area. The entrance itself is a dark doorway with a glass panel. Above the entrance, a sign reads "鶴岡市立図書館" (Tsuruoka City Library). To the left of the main building, there is a smaller structure with vertical stripes and a sign that appears to read "Tsuruoka City Library". The background is filled with dense green trees and foliage, suggesting a rural or semi-rural setting.

は混雑が予想される。
近い将来規
模を大きく新
設されたらい
かがか。
また、最近

は財政状況を考慮しながら検討したい。

「列福運動」に対するインバウンド客の認知度や関心度を測るデータは調査しておらず、今後検討していきたい。

Q 津和野町民センターの改修は A 学習・文化活動の拠点として、安心 ただける環境整備が必要

支援地方交付金を活用して
まずは生活者支援としての「(

時期は来年3月を日途に、各人一万円の予定。

観光客の増加、交流人口の拡大、経済相乗効果ともども外資系ホテルの早期着工も期待できる。

そして「文化センタ―」としての役割を基軸に、現在進行中の小津和野地区図書館のセンター内への新設を提議する。

情報共有を図りながら、様々な可能性について検討する。



Q 町立図書館の役割とは

A 町民の読書活動や学習、文化的な富みを支える拠点

たなか うみた ろう
田中 海太郎 議員

問　近年、図書館利用者が減少傾向にある（※）。人口減少に加え、読書離れが影響している。

昨年の実績では、一日の読書が0分の児童・生徒が半数以上となるといつ。

当町は図書館魅力化を進め、どのような対策を考えているか。

教育長　町民ニーズに応じた図書の充実やサービス向上に努め、利用しやすい図書館を目指している。

また学校に図書館の本を配置したり、選書会を開催したり、乳幼児健診の場で絵本を贈呈し読み聞かせを促す「ブックスタート事業」を実施している。

問　「ブックスタート事業」の取組は素晴らしいが、乳幼児から高校生までと、読書推進は切れ目なく行うべきだ。

一方で、現在図書館職員の勤務体制は原則1人のため、業務負担が大きい。休館日が極端に少ないので、週一の休日を設けて、2人体制の日を作つはどうか。

教育長　今までの経過と状況を見ながら、休館日について

は検討していきたい。

問 日原図書館は「かわべ」も隣接して利用しやすい一方、津和野図書館は、経年劣化し手狭で、道路から出入りも危険である。

そのため、町民から建替いや移転の要望も上がっている。私は新築には賛同し難いが、今後の在り方の検討が必要だ。

教育長 津和野図書館の諸課題に関して、町としても理解するが、第3次計画の策定までの流れはどうなっているか。

町長 現在第3次計画の基本構想の策定を進めている。

今年10月に町民意識調査を、12月に高校生を中心としたワークショップを行い、素案を作成する。

その後、パブリック「メント」で町民からの意見を募り、審議会・検討委員会を開催して、議論を重ね、最終案を作成する。

Q 第3次総合振興計画策定への意気込みは

A 将来像と施策をリンクした分かり易い内容にしたい

問 日原図書館は「かわべ」も隣接して利用しやすい一方、津和野図書館は、経年劣化し手狭で、道路から出入りも危険である。そのため、町民から建替いや移転の要望も上がっている。私は新築には賛同し難いが、今後の在り方の検討が必要だ。

(人数)	津和野	日原	小中高生
来館者	4091	4033	1461
登録者	1641	1435	423
利用者	234	270	97

※ P.6 図書館利用実績（登録者+累計）

ただ財源の問題もあり、現時点では具体的な計画を示すことは出来ない。今後検討していく。

また前回は、意識調査もパブリックコメントも行っていない。高校生の視点を計画に組み込むのは良いと思うが、まずは地元の方々の声を反映すべきでないか。町民向けのワークショップをやるべきだと思うが。

町長 町民の方々からどのような意見を引き出していくのかを考えながら今後検討していきたい。

問 民と職員が一緒にしなつて、計画を作る先進的な取り組みもある。

人口減少が課題となる次期計画はとても重要なものだからこそ、町民や職員の手で町の将来の計画を作るという場を用意してほしい。

町長 町としても計画の普及に努めてきたが、まだまだ浸透しているとは言えない。一方で、過去の反省も踏まえつつ、作成の過程を大切にして、策定に向け動いている。

人口減少が課題となる次期
計画はとても重要なものだか
らこそ、市民や職員の手で町
の将来の計画を作るという場
を用意してほしい。

問 については今後注視していただきたい。
町民意識調査やパブリックコメントの回答率は。
町長 今回の意識調査は、現時点で46%の回答率で、予想以上の反響があった。

町民の意識は高まつてや
しのうせん。



Q 学校給食における地産地消は

おおえ
大江
れい
梨 議員

A 次年度も実証的取り組を継続

教育長 給食での地場野菜利用の実証的取り組みの状況は。

の総量約2800kgの内地場野菜は約530kgで割合は約19%。昨年同期間では総量2500kgの内地場野菜は33kgで割合は約1%であったため、18%の増加。実証的事業に一定の成果を認めている。

現状では地場野菜利用には野菜の費用に加え、集荷配達費用が必要となるが、通常の仕入れと比較した場合の費用負担は。

教育長 通常仕入れよりも野菜の単価が抑えられているため負担は大きくない。

地場野菜利用について
給食センターはもと
て次年度の方針は。

より、対象施設を増やし、元における地場野菜の使用量が増加する仕組みの構築に向け、関係各所と協議したい。

町長 ご指摘の通りである。今回から振興計画と総合戦略を一本化するため、以前より整理される。また、設定方

年での同様の実証的取り組みの継続のいずれかを求めるが町長の考えは。

町長 財政を考慮すると集落支援員制度の中で実施できるのが望ましが、実証的取り組みは来年度も継続したい。

町長 分かりやすく実現可能性を意識し、町民が実感できる方法については「ンサルタント」も関わってもらい検討する。

教育長 分かりやすさと実現可能性を意識し、町民が実感できる方法については「ンサルタント」も関わってもらい検討する。

教育長 国の給食費無償化への対応は。

教育長 分は町で補助し完全無償化とするのか、保護者負担を継続するのか。

教育長 国の動向を踏まえ適切に対応したい。

目標をそろえた目標を策定することに課題があるようになります。そこで、関係各所と協議して、実現可能な取り組みを実施する。

町長 ご指摘の通りである。今までの進捗と今後の具体的な策定過程は。

町長 町民意識調査を実施し、現在集計段階。また高校生を中心としたワークショップを開催し、これらを基に基本構想・基本計画のたたき台を作成。年明けからは現行計画の施策を担当課とともに検証する作業をはじめ、次期計画に掲げる政策を精査し、パブリックコメントによる意見を募りながら2022年（令和4年）12月の完成を目指す。

町長 町としても大変意義ある取り組みと認識している。申

12月の完成を目指す。

Q 第3次総合振興計画の策定に向けては

A 庁内推進検討委員会と庁議で協議を重ねる

総合振興計画の性質と役割として「総合的かつ計画的な行政運営の指針」「町民と行政のまちづくりの指針」「政策評価の基準」の3点が位置付けられている。総合振興計画の存在は日々の業務にどのように活かされ

ているか。

町長 予算措置は振興計画に基づくものであり、各課の職員の意見を踏まえて策定しているので、策定段階から浸透していると考えている。

町長 町としても大変意義ある取り組みと認識している。申

Q 住民主体の移動支援

A 大変意義のある取組と認識

和野町高齢者等の移動支援事業」を活用し住民主体の移動支援が行われている。

町長 例えは「教育の町」といった様なスローガンを掲げる

町長 つわの暮らし推進課が窓口。

町長 住民の移動課題は公共交通機関との連携を強化する。

町長 ただでは十分に移動ができない側面がある。

町長 町としても地域主体の活動と公共交通の役割を相互に補完し合つ形で地域の実情に応じた仕組みづくりが進められるよう、関係部署との連携を強化する。

町長 町議会議員の意見を踏まえ、各課で協議して、実現可能な取り組みを実施する。

町長 町議会議員の意見を踏まえ、各課で協議して、実現可能な取り組みを実施する。

よこやま もとし
横山 元志 議員

Q 令和8年7月には芸術士®がいなくなるのではないか

A 積極的に募集している

教育長 幼少期の子どもの成長にとって欠くことのできない「芸術士®派遣事業」であるが、事業化に至った経緯は。

自然体験や創造体験が減少する中につれて、豊かな創造性を育む経験が不足すること、で、観察力や集中力の低下等、成長過程に課題が生じることに危機感がある。

子どもたちが芸術に触れる機会を提供することで、創る楽しさや喜びを実感し、感性や創造力の育成とそれぞれの個性を伸ばすことを目的として事業を開始した。

問 理念としては素晴らしい、自治体として芸術士®派遣を事業化しているのも当町独自のようであり、事業開始より10年経過し、当初2年くらいは不安があったが、試行的に実施して素晴らしい成果もあげてきた。今こそ本格的な事業化を計り歳費を投じるべきではない。

教育長 創造力や感性を育むため、新しい風を入れるべきと考え、人員を固定化せず、地域おこし協力隊での事業と

問 現在2名体制の芸術士®派遣事業で来る見込みがあるなら集落支援員の芸術士®がいたほうがいいのではないか。

教育長 集落に関わるというより、地域に関わるというほうが適切と考える。

問 事業は保育園、幼稚園として大人まで関わられ、0歳児からのひとつづくり事業を網羅できる唯一の事業。他の事業はどうしてもポイント的にになっている。

教育長 大切な事業なので途切れさせるわけにはいかないと思われるが。

問 月に1度程度、安野光雅美術館にて芸術士®がワークショップを開催しているが、教育長の認知の見解は。

教育長 創造力を高め感性を磨くものになっていると思う。

問 入れ替わりの中で、芸術士®が0人になることが危惧され、事業を継続するにあたり地域おこし協力隊であつた方に集落支援員として事業を継続させた。

教育長 地域おこし協力隊の任期はあくまで3年、芸術士®派遣事業としても任期の中で活動していただき、活動の中で本人が定住に係ることをしていたがものだと考える。

問 この芸術士®派遣事業は保育園、幼稚園として大人まで関わられ、0歳児からのひとつづくり事業を網羅できる唯一の事業。他の事業はどうしてもポイント的にになっている。

教育長 芸術士®派遣事業について「つわの学びみらい」を受け皿にする検討材料のひとつにはなる。

問 月に1度程度、安野光雅美術館にて芸術士®がワークショップを開催しているが、教育長の認知の見解は。

2016（平成28）年度より取り入れた「芸術士®派遣事業」であるが、事業化に至った経緯は。

問 試行的に実施とのことだが、いつまでが試行的実施なのか。

教育長 当初の地域おこし協力隊の任期3年経過までが試行的期間である。

していきたい。試行的に実施とのことだが、いつまでが試行的実施なのか。

教育長 3年任期の地域おこし協力隊が入れ替わりながら新しい風を入れるというのであるなら、なぜ現在在集落支援員の芸術士®が配置されているのか。矛盾を感じるが。

教育長 地域おこし協力隊の任期は3年、4年目からは自立していただくために、創業支援や「つわの学びみらい」と言ったものを活用して定住続けたいと考へている。

教育長 しかし当町では任期満了にともない出て行ってくださいということになるが。

教育長 地域おこし協力隊の任期はあくまで3年、芸術士®派遣事業としても任期の中で活動していただき、活動の中で本人が定住に係ることをしていたがものだと考える。

教育長 これは収入が発生するものではないところで、「つわの学びみらい」という受け皿は最適と考える、ぜひ検討していただきたい。

としても教育長と同意見か。町長 政治的中立性から意見の相違はあれど、議論を重ねた上で、最後には教育委員会の応援をしていく。

Q 石見交通広益線清流ライン「高津川号」を津和野駅経由の実現を



よねざわ ひろふみ
米澤 宏文 議員

A 住民の移動手段確保と利便性向上 は重要な課題である

JR山口線利用広島行きは津和野駅で跨線橋、新山口駅で跨線橋、往復で4跨線橋を昇降する。

広島観光・津和野観光共に便利で有効な交通体系となる。

現状は、日原地域バス停留所から乗車。

津和野駅経由所用時間は、

急3便。
清流ラ
イン「高津川号」
を津和野
駅乗り入
れで往復
10便の増
となり益
田市、日原
吉賀町へ
の交通が
の交通広益線清流ライン「高津川号」
石見交通
益田→広島1日5便 広島→益田1日5便運航

や到着時刻、乗り継ぎへの影響、燃料費、人件費等の運行コストの増加、増加コストに見合う採算性等、検討が必要。

航形態や経路、ダイヤ編成は単に一自治体の要望だけでなく、沿線自治体全体の需要や事業者全体の運行計画、国庫補助制度の枠組み、採算性を総合的に勘案し設定。

津和野駅経由ルートで迂回による運行距離・所要時間の増加、既存利用者の乗車時間

「高津川号」の津和野駅経由で住み易い町を目指して実現の努力して頂きたい。

駅往復28分乗車時間入れて30分。
マイナス面としては、山口線の乗客の減少が懸念され、運航時間が30分長くなる。
諸問題はあるが、これから益々高齢化が進み、JRの跨線橋を利用できない方が増えることは明白。

石見交通広益線清

国道9号線、国道187号線

持続可能な運航形態の両方を

町長 なし。
鹿は年に複数回の危険は
人家近くで熊の出
没情報が有ったとき出

津和野町も有効な活用を願う。ドローン国家資格等所持者は、農林課4名、二等無人航空機操縦士資格。鹿、熊探索（赤外線センサー（熱感知器））利用実績は。

問 2022(令和4)年9月補正予算361万円で鹿対策用として購入し、農林課所管のドローンの活用状況は。

最近の報道で熊が人家近くに出没時、ドローンで位置確認し爆竹で追い払ったテレビ放送があった。

Q 町所有ドローンの活用状況

住民の方の移動手段の確保と利便性向上は重要な課題であるが同時に本町にあっても

野駅経由を含めた経路・ダイヤの在り方、財政負担も含め町として対応可能な範囲を見極め、慎重に協議・意見交換を行う必要がある。

持続可能な運航形態の両方を

い。
町長 **問**
農薬等の散布はできな
布は。
肥料
消毒液の
散

は。 は。 は。
問 町長 町長 問
撮影の可否は。 搭載力メラで動画
静止画、動画撮影可。
一般への貸し出しは難
い。 営農組合等要望あ
れば貸し出しの可否

町長	町長	町長	町長
問	問	は。	は。
な。	これまでなし。	は。	は。
績は。	これまでなし。	災害状況把握実績	可能であるが、日没後
行方不明者捜索実績は。	は。	は。	は日視できない。

活用状況

採算性を考慮した地域公共交通の在り方を慎重に検討して行く。

持続可能な運航形態の両方を確保することが不可欠である。

みちのぶ としあき
道信 俊昭 議員

Q 当町への来客は「新しい視点」を持っている

A 新たな魅力の切り口を創出したい

問

津和野町において、観光客や町の賑わいが減少したのは確かである。

照明、観客席をもつたホールの大切さである。

その理由は、「津和野の歴史」という話題性が一区切りついたことにあると思つ。

そこで、津和野の復活劇は

「新しい魅力」を引き出すこ

とである。

その一つは「人」。

具体的例をあげると、ヨーロッパでプロとして活躍したバレーダンサーで、今は地元を中心活動する傍ら世界を目指す子供を育てている。

次は、少年の歌舞伎役者をして大活躍している若者だ。さらには、陶芸作家・画家として親子で現代工芸の道を歩み、数々の作品を出展し、日本並びにドイツで受賞してきた。

ドイツとの架け橋の役になつてゐる。

二つ目は「発信力」すばらしい文化を発信できる音響、

最近の来町者は外国人や近隣の人が増えた。彼らは「芸能文化の講演」や「あいに会いたい」などの観光以外の観点を持っている。これ

からの津和野の魅力を作るため行政としていかに対処するか。

利用者となる施設や、屋外に

ついて、受動喫煙対策を一層

徹底するものである。

町民センターの自転車置き場に灰皿があるが、この場所は行政機関庁舎の敷地内禁煙場所であるはず。

通行人、特に幼花園の園児に影響を与えてるので「喫煙専用室」の設置を望む。

特に幼花園の園児に影響

は、望まない受動喫煙を防止することと受動喫煙による健康への影響が大きい子供や高齢者への配慮する必要がある。

特に幼花園の園児に影響を与えているとのことであるので、喫煙される施設利用者のことも考慮のうえ、喫煙場所の移設等を検討し、受動喫煙の防止に取り組んでいきたい。

齢者の配慮にある。

津和野町民センターは、体

育館や集会場として第2種施

設に位置付けられ、原則禁煙

施設となるが、屋外であつて

も望まない受動喫煙を生じさせ

ることが無いよう周囲の状況に配慮する必要がある。

つわの議会だより

No.81

ー 11 ー

問

改修工事

Q 「町道笹ヶ谷線」の改修工事において、政状況等を考慮し検討したい

A 最も合理的な方法と判断した

当初設置されていた仮設橋を橋梁工事が終わる前に撤去したため、一度造った擁壁を壊すという事例があった。

仮設橋を撤去せずに残していれば、擁壁を壊す必要はない

かったはずである。

このような事態になつた原

因は。

橋を利用にあたつては、旧

橋を積載して搬入する計画とし

ていたが、トレーラーの橋への

進入角度が想定以上に急とな

り、安全かつ確実な搬入が困難であることが判明した。

現場での技術的な検討の結果、トレーラーの安全な進入ルートを確保する目的にて、既に施工していた既設コンクリート擁壁の一部を撤去せざるを得ないと判断したものである。

Q 町民センターの受動喫煙対策は

A 喫煙場所の移設等検討する

「健康増進法」という法律がある。

基本的な考えは、子どもな

ど20歳未満の者、患者等は受動喫煙による影響が大きいことを考慮し、こうした方々が

二つ目は「発信力」すばらしい文化を発信できる音響、

Q 町民センターの受動喫煙対策は

「健康増進法」とい

う法律がある。

基本的な考えは、子どもな

ど20歳未満の者、患者等は受動喫煙による影響が大きいことを考慮し、こうした方々が

Q グリーフケアを多くの人に知ってもらう政策を

A 講演会など町としてできることを検討したい



寺戸 昌子 議員

大切な人、赤ちゃんや子供、パートナー、家族との死別など大きな喪失を経験した人に寄り添い、立ち直りを支援するサポートのことをグリーフケアという。

大きな喪失を経験すると人によっては、「何もする気が起きない」「もつと何かできたはずなのに」「空腹を感じない」など様々な症状が出てくる。

大切なパートナーや子どもを失った人、大きな喪失を経験した人に寄り添い、立ち直りを支援する場所が町民の身近に必要と考える。

大きな喪失を経験した人の悲しみを無理に忘れさせるのではなく、悲しんでいる人が自分らしいペースで、悲しみと共に生きていける道を見つける「悲しんでいいんだ」と思える手助けが必要だ。

グリーフケアについて行政はどのように関わるべきと考えるか。

町長 関係する医療・福祉・学校・NPO・宗教者などに繋ぐコーディネイト役を担うこと。一時的には、保健師や家庭センターの担当者が傾聴・

見守りを行い、必要に応じて専門機関へ橋渡しすることなどがある。

Q グリーフケアを多くの町民に知つてもらう

問 施策を。

町長 グリーフケアは、意義のある事だと感じている。

グリーフケアは、身近な人々の支えが大切だと考えたとき、専門機関に相談に行く前のもつと入口の問題として、前のもつと入の問題として、町民の方々がグリーフケアという言葉を意識してもらいつつ、常に重要なことだと思つ。

身近な地域でも一般向けの講習会など取り組んでいる。

一般の住民の方が実践できるグリーフケアについての理解を深める講演会の開催ができると思つ。

専門家ではなくても一般町民としてグリーフケアとしてどういう関わり方があるのか学んで頂ける講演、講習会を開くことで広がつていくのではないかと感じていて。

町としてやれることを検討していきたい。

Q 枕瀬山キャンプ場の改修を

A 必要に応じて修繕したい

問 枕瀬山キャンプ場は町内のみならず県外からの利用者も多い。

町長 近くには高津川も流れ、自然を満喫できる素晴らしい環境にある。多くの方に利用してもらいたい。

しかし、経年劣化が激しく改修が必要と思われる設備もある。見受けられる。

枕瀬山キャンプ場は、どのくらいの頻度で利用されているのか。

年間の利用状況の人数、利用日数等は。

町長 年間利用は表の通り。

	利用人数	利用日数
令和5年度	322人	41日
令和6年度	244人	37日
令和7年度	255人	34日

※開園期間 4月～10月

Q 専門家による点検は、いつ行う予定か。

町長 専門業者による点検は今年度中には行いたい。

Q は、いつ行う予定か。

町長 専門家による点検は今年度中には行いたい。

Q 経年劣化による損傷がみられる。建設から30年以上経っているので専門家による点検が必要と考えている。



バンガロー

町長 バンガローにおいて一部現在、改修が必要と思われる設備はど

町長 熊の気質が変わってきた。相次いでいる。安全なキャンプ場としてより踏み込んだ熊対策が必要ではないか。

町長 対策は、県との連携が必要である。今のうちから対策を考える必要がある。

町長 熊被害が出れば大きな影響がある。関係各課と連携して対策を取り組みたい。



Q 農業者激減どうする

A 農地集約化の推進、まずは話し合うことが大切

みたら つよし
御手洗 岡 議員

農業者が減っている。
憂慮すべきは、農業経営体
が82万8000と初めて100
万を割ったことだ。
個人・家族で農業を営む個
人経営体は高齢化などによ
り、

(水稻生産実施計画書)による
と約60.9ha(水稻作付面積
32.4ha、転作面積約13.8
ha)であり、不作付面積は1
4.7haとなる。

更には、「さでいくべき農地」とした範囲内であつても、水路の条件が悪かつたり、補修が必要な箇所、ほ場の形状などの条件が良くななど、ハード整備が必要な箇所も存

また、現在、水稻耕作を
他の集落にまたがつて借り受け
る担い手が複数人いる状況
の中、今後はその担い手が高
齢化等により耕作できなくな
ることで、受け手不在の遊休
農地の増加も懸念されてい

農地を耕す人が見つかなくては、耕作地が今後、激増する恐れがある。

多様な農業者の確保と育成、農地集約が急務となる。基幹的農業従事者の減少率は、比較可能な1980年(昭

4月末までにまとめた市町村の「地域計画」では、農地1筆ごとの10年後の耕作者を書き込む「目標地図」を書き込みない白地農地が全国で3割を超えた。

策定と「目標地図」作成から見える課題は、
町長 10年後に将来の農業者が位置づけられていない農地面積の割合は約4割となっており、このことは、高齢化や後継者不足により、若い手の

農林水産省がまとめた2025（令和7）年農林業センサスによると、農業を主な仕事とする基幹的農業従事者は5年前の調査より25%も減った。

い。
多様な経営体がなければ、
地域は成り立たない。
中山間地域などの農地や水
路を維持することもできな

い。
農業者の減少が止まらない。
担い手確保対策は、持続可能な農業の

一方、法人をはじめとする「団体経営体」は増えており、1経営体当たりの規模拡大もて24%近く減った。

問　その内、農事組合
法人並びに認定農業
者の集積割合は。
農事組合の利用集積面
積は。

同
その内、農事組合

住している

所管事務報告書

総務経済常任委員会

調査事項

◎農業の担い手育成について

調査意見

- 農業者は「この国の食料安全保障を担う要であり、重要な存在であり、多様な人材による「農業の担い手確保」が急務である。
- 当町においても、2024（令和6）年度に、「地域計画」が策定された。
- 農地1筆ごとの10年後の耕作者を書き込む「目標地図」を書き込めない白地農地が42.9%もあった。

● 農業者は「この国の食料安全保障を担う要であり、重要な存在であり、多様な人材による「農業の担い手確保」が急務である。

● 津和野町特定地域づくり事業協同組合は、職員の所得水準が十分でなく、職員数も増えている。

- 体制強化のため、一層の財政支出を含む支援が求められる。
- スマート農業は、人手不足や高齢化といった課題を抱える中、作業の効率化や品質向上を目指す取り組みとして推進されたい。

● スマート農業は、人手不足や高齢化といった課題を抱える中、作業の効率化や品質向上を目指す取り組みとして推進されたい。

成・支援に大いに貢献している。年間平均3回程度開催されており、農業関連移住者の心の拠り所になっており行政としての関わりを継続されたい。

ペースは、国の定める基準に達してはいるが、児童の活動状況に比べると狭くなっている。現在、各クラブにおいて学校と協議の上で体育館やランチルームなどを使用し、スペースにゆとりがない課題を克服できるよう努めている。

今後も健康福祉課、教育委員会としても協議して子どもが安心して安全に楽しく過ごせる場所作りに努力されたい。

また、体育館については冷房がない施設があり、夏に利用する場合子どもの健康面に懸念がある。

域団体の運営には多くの魅力が生まれている。

今後、地域による多様な団体の受け皿も視野に入れて行政の支援や検討も努力されたい。

長期休暇中の昼食の提供は、保護者の要望も強く、また、子どもたちの健康のためにも大変役立っている。

健康福祉課、教育委員会で協議して給食センター職員に負担増にならないよう配慮しながら期間拡大を検討されたい。

文教民生常任委員会

調査事項

◎放課後児童クラブについて

- 農地の集約化を進めるために、今後も町が主体となって、女性や若者の意向も取り入れることが効果的であり、検討会の継続実施が必要である。
- 「新・農業人ファア」等による農業関連移住者受け入れの取り組みは着実な成果を上げており、今後においても継続されたい。

- 各放課後児童クラブが、公民館など他団体と連携して料理教室を行ったり地域の祭りに参加したりと工夫をし、「地域との交流」「施設の狭さ」など

に冷房施設を設置予定ではあるが、早急に冷房施設の設置を検討すると共に、緊急的手段としてスポットクーラー等を設置すべきである。

● 令和7年11月5日に津和野町特別職報酬等審議会が開催され、報酬改定額の根拠について委員長が審議会に出席し、本議会議員の報酬改定の根拠について説明を行った。

● 「つわの百姓塾」は、担い手の育成・支援に大いに貢献している。年間平均3回程度開催されており、農業関連移住者の心の拠り所になっており行政としての関わりを継続されたい。

● 「つわの百姓塾」は、担い手の育成・支援に大いに貢献している。年間平均3回程度開催されており、農業関連移住者の心の拠り所になっており行政としての関わりを継続されたい。

条例の制定

- 津和野町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例
- 津和野町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

令和8年度より「子ども誰でも通園制度」が全国的に実施されることに向けた条例制定。

保育所に通つていない生後6ヶ月～満3歳未満の子どもを短時間保育施設に預けられる新たな仕組み。現在実施されている一時保育は親の都合（仕事等）での利用が目的とされた制度であるが、「子ども誰でも通園制度」は子どもの育ちの支援を目的とした制度である。

保育施設において当該制度の実施希望があった場合には認可制となつていて、保育施設において当該制度の実施希望があった場合には認可制となつていて、

条例の改正

- ◎津和野町職員の勤務時間、休暇等に関する条例
- ◎津和野町職員の育児休業等に関する条例
- ◎津和野町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

●津和野町水道事業給水条例		◎津和野町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例				◎津和野町病院事業利用料及び手数料条例			
（一例）健康診断書1千円→2千円入院証明書4千円→5千円等									
●政府に所得補償（直接支払い）制度の実現を求める請願書									
〔請願者〕	島根県農民運動連合会	〔紹介議員〕	寺戸 昌子	〔請願事項〕	農家の生産を下支えする所得補償制度の確立を求める意見書を政府に送付すること	（請願者）	（紹介議員）	（請願事項）	
口径 13mm・20m / 月の場合の水道料金									
R6年	R7年 4月～	R8年 4月～	R9年 4月～						
3,300円	3,795円	4,290円	4,620円						

水道料金は令和7年4月より段階的に引き上げられ合計40%（令和6年比）のアップとなります。

提出者	議案・賛否表	○=賛成 ●=反対 異=棄権 欠=欠席	道 信 大 江 丁 沢 米 山 森 本 横 田 浦 御 手 三 田 田 川 戸 田 結果								議長											
			道	信	大	江	丁	澤	米	山	森	本	横	田	浦	御	手	三	田	田	川	結果
令和7年第6回（11月）津和野町議会臨時会																						
議長	津和野町選挙管理委員会委員の選挙	水津 隆氏																			指名推選	
	//	久保睦夫氏																			指名推選	
	//	藤井昭見氏																			指名推選	
	//	廣石洋子氏																			指名推選	
	津和野町選挙管理委員会委員補充員の選挙	福田和文氏																			指名推選	
	//	板垣敬司氏																			指名推選	
	//	増成孔也氏																			指名推選	
町長	津和野町副町長の選任	宮内秀和氏																			無記名投票	
	// 監査委員の選任	大庭郁夫氏																			無記名投票	
	// 教育委員会委員の任命	村上 守氏																			無記名投票	
	//	庵野敏人氏																			無記名投票	
	津和野町福祉医療費助成条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	可決	
町長	// 子ども等医療費助成条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
	令和7年第7回（12月）津和野町議会定例会																					
	津和野町特定乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	// 乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	// 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	// 職員の育児休業等に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	// 職員の給与に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	// 会計年度用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	津和野町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	津和野町病院事業利用料及び手数料条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町長	// 水道事業給水条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
	令和7年度津和野町一般会計補正予算（第4号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	// 国民健康保険特別会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	// 介護保険特別会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	// 後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	// 病院事業会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	// 水道事業会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	// 下水道事業会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	政府に所得補償（直接支払い）制度の実現を求める請願書		●	○	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	不採択

津和野町議会 座談会

11月13日（木）津和野町コミュニティセンター大集会室、11月20日（木）津和野町役場本庁舎第5・6会議室、いずれも午後6時～9時に開催しました。



- 今回の座談会は、テーマごとに3つのテーブルに分かれ、参加者さんと議員が意見交換をしました。
- 過去の座談会では、いただいたご意見や困りごとは持ち帰り、委員会等で調査し、議会だよりなどで報告していました。
- 今回は持ち帰ることなく、また議会としてお答えすることもなく、議員個人の責任のもとに、お答えできるものはお答えし、調査・研究が必要なものは、議員個人の政治活動・議員活動の題材にさせていただくこととしました。
- その結果、12月定例会では5名の議員がいただいたご意見を題材に一般質問し、座談会のご意見が活用できたと思っているところです。

《反省と課題》

- 前年は各公民館での開催でしたが、今回は旧町単位2か所で開催し、いただいたアンケートの結果から見ても旧町単位2か所で十分であるが、時々には公民館に出張する必要性を感じました。
- 今回も平日の夕方から晩にかけての開催でしたが、アンケートにも休日・日中に開催の要望もあり、日時・曜日は固定せず、形を変えながら模索し続けていき、町民のみなさんと議会との距離を縮めていくことが必要と考えます。

■編集後記

あけましておめでとうございます。

2026（令和8）年は4

年ごとに開催される、サッカーワールドカップの開催年です。

早いもので、日本代表が強豪ドイツに勝ち、そして「三苦の1ミリ」で強豪スペインをも破ったことで、世界を驚かせ、日本を大いに沸かせてくれた前回大会から4年が経とうとしています。

さて、26（令和8）年はまた、津和野町議会議員選挙が執行される年でもあります。様々な議会での出来事を分かりやすく、また読者の皆様に手に取つていただける紙面づくりを心掛けてきました。このメンバーで編集するのは3月議会号のあと1回。最後まで手に取つていただける紙面づくりを心掛けたいと思います。

川田 剛

広報広聴常任委員会
◎横山 大江
三浦 英治
川田 宿文
元志 ○田中海太郎
梨い治
米澤 剛
海太郎